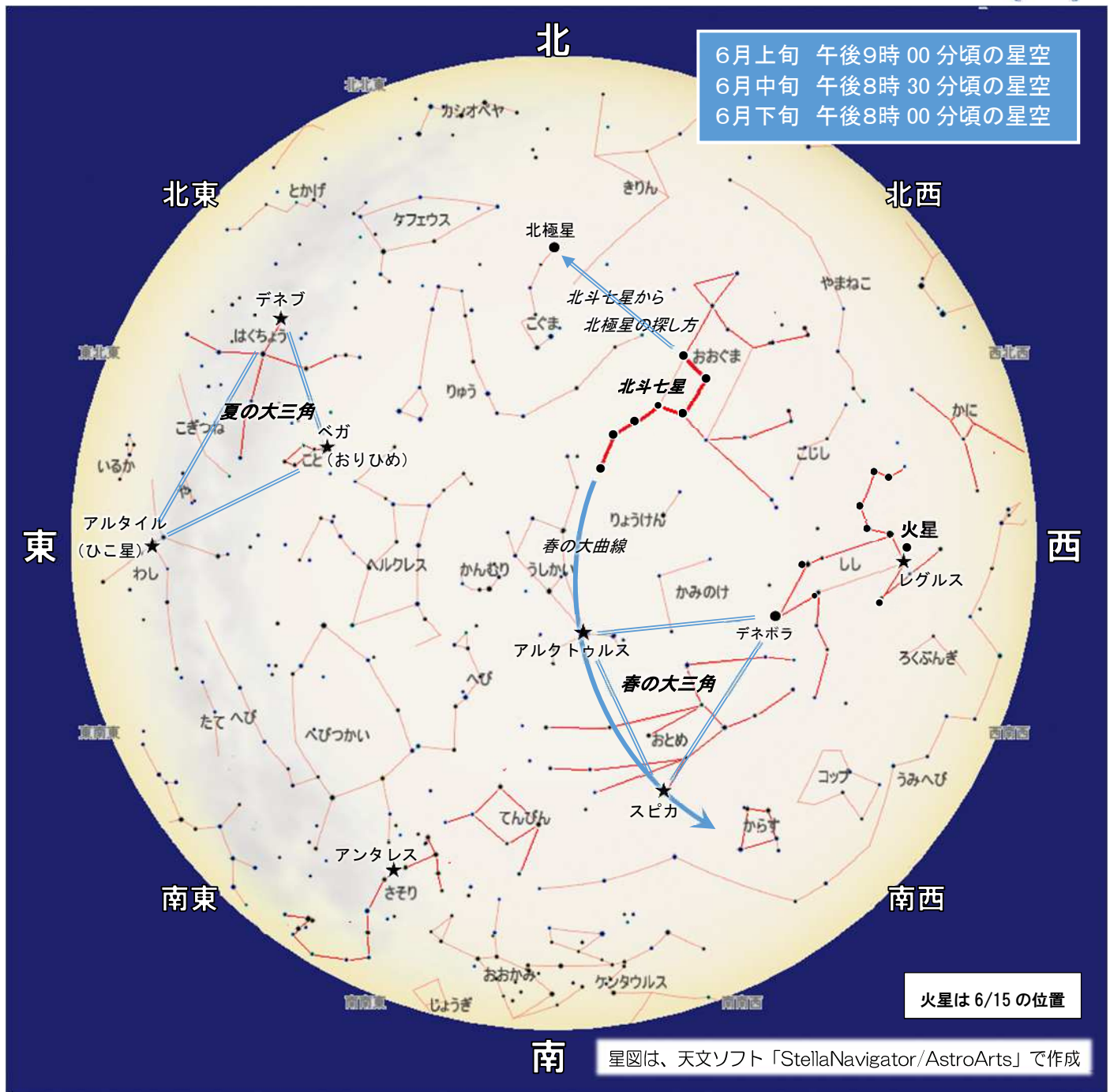


2025年 6月の星空案内



【6月の星空と惑星】

6月は、1年の内で一番昼が長い月です。21日は、太陽が最も北寄りに位置する「夏至」です。

宵の空では、まだ春の星座たちが目立ちます。『北斗七星』の柄のカーブを延長していくと、うしかい座の「アルクトゥルス」、おとめ座の「スピカ」、からす座へと『春の大曲線』が続きます。

日没後、時間とともに『夏の大三角』が徐々に姿をあらわしてきます。先陣を切って、東北東の空にこと座の1等星「ベガ」が輝きます。その後を追って、はくちょう座の「デネブ」、わし座の「アルタイル」が昇ってきます。

【6月の惑星】

夜明け前の東の空には金星が、南東の空には土星が輝いています。宵の空では、火星がしし座のレグルスの近くにあって目をひきます。また、1日は上弦の少し前の月と赤い火星が並ぶ光景が見られます。